

3. 旧鞆絵小学校

旧町名由来板 めぐり 20-3

江戸名所道戯尽 三十四 虎の御門外の景
 広景 (歌川広景) 安政6年 (1859)
 An Ukiyoe (old Japan) titled
 "Edo Famous Site Caricatures
 (Edo-meisho Doke-zukushi Sanjushi Toranogomogai no Kei)"
 by Utagawa Hirokage, 1859



にしくほともえちよう 西久保巴町

あたごやま けいちよう てんとくじ
 愛宕山の西北麓に位置する町域です。慶長十三年(1608)に天徳寺
 もんぜん げんろく
 門前、および元禄年間(1688~1699)に下谷町と車坂町の代地と
 にしくほしんしたやちよう にしくほくるまざちよう
 なり、西久保新下谷町、西久保車坂町と唱えました。明治五年(1872)、
 はまだはん まつだいらうこんしやうげん にしくほしんしたやちよう にしくほくるまざちよう てんとくじ
 浜田藩松平右近将監屋敷、西久保新下谷町、西久保車坂町、天徳寺
 もんぜんまち ばくし にしくほともえちよう
 地、同門前町および幕士の屋敷を合併して、新たに西久保巴町とな
 かみやちよう
 りました。町名は、町内が南は神谷町境に延び、東は北西に屈曲し
 ともえ
 巴の形によく似ていることに由来します。

ふきでちよう 葺手町

にしくほともえちよう にしくほしるやまちよう あかさかく あざぶ
 西久保巴町と西久保城山町とに挟まれ、西方は赤坂区および麻布
 くに さいわいばしもんがい ふたばちよう
 区に接しています。むかしは幸橋門外の二葉町の続きにありましたが、
 げんろく ようち にしくほ つちとりば だいち
 元禄四年(1691)用地に召し上げられ、西久保の土取場に代地を与
 つちとりば
 えられました。土取場とは土木用の土砂を取り崩した場所をいい、
 ふきでちよう しるやまちよう
 葺手町と城山町との道を入った崖下にありました。町名の由来は
 やねしよくにん
 あきらかではありませんが、町の状況から屋根職人の人が多く居住
 した町と推測されます。

にしくほしるやまちよう 西久保城山町

にしくほ ふきでちよう かみやちよう
 西久保通りから葺手町と神谷町との境の道路に入ると、左手に
 にしくほしるやまちよう ふきでちよう ときてい
 西久保城山町があります。もとは、葺手町の土岐邸から町内へかけ
 くまがいじろうなおさね おおた
 てを俗に城山と呼び、むかし、ここに熊谷次郎直実、あるいは太田
 どうかん じようさい
 道灌が城砦を築いたという伝承があります。明治五年(1872)に
 いけだかいのかみ こぼりだいぜん おおくぼ はやと ばくし
 池田甲斐守、小堀大膳、大久保隼人等、諸幕士の屋敷を合併して、
 にしくほしるやまちよう
 新たに町名を西久保城山町としました。



平成18年(2006)



大正10年(1921)

The origins of old town names in Shiba area.

This signboard guides the origins of old town names, each of which in most cases represents its own history of the beginning or the location.

Nishikubotomoe-chō

Consisting of both Nishikuboshinshitaya-chō and Nishikubokurumazaka-chō during the Genroku period (1688-1699), the town area was situated at the northwestern foot of Atagoyama hill. In the 5th year of the Meiji period (1872) both the towns were united to develop into a single town named Nishikubotomoe-chō, including near-by samurai residences, a temple territory and its town. "Tomoe" of the town's name meaning a comma-shaped heraldic design, it got the name because its area shape resembled the design.

Fukide-chō

The town moved to this substitute land in the 4th year of the Genroku period (1691) because the original site was seized by authority. It was sandwiched in between Nishikubotomoe-chō and Nishikuboshiroyama-chō, adjacent to Akasaka Ward and Azabu Ward in the west of the town. It is unknown how this town got its name. However, judging from the town's name or according to other information available, many roofers seem to have resided in this town.

Nishikuboshiroyama-chō

Legend has it that Kumagai Jiro Naozane or Ōta Dōkan constructed a castle (shiro) here in old times, and therefore this place was popularly called "Shiroyama" (castle mountain). In the 5th year of the Meiji period (1872) it was formally named Nishikuboshiroyama-chō, uniting near-by samurai residences.

芝地区総合支所 03-3578-3111(代表)

ここは、港区虎ノ門3-4-7です。